

全国大学体育連合近畿支部講演会

「非認知的能力を育む大学体育の可能性」

－ 日本および米国の体育科目の取組み事例から －



講師：難波 秀行 先生

（大阪大学 全学教育推進機構 准教授）

身体活動・運動疫学、スポーツ栄養、体育授業研究を専門とし、大学体育を通じた学生の健康増進や学習意欲の向上、非認知能力の育成に関する実践的研究と教育改革を推進する気鋭の教育研究者

- ・ 日時：11月22日（土） 16：00～17：00
- ・ 参加方法：対面またはZoom（オンライン）
- ・ 対面会場：大阪大学豊中キャンパス カルチエ・ミュルチラング（全学教育推進機構 総合棟1F）
- ・ Zoom 情報：後日、メールにて連絡
- ・ 参加申し込み：本URLより参加登録

<https://forms.office.com/r/rXVaG7sVGK>



講演概要：わが国では18歳人口の減少が進むなか、高等教育機関には教育の質向上、グローバル化への対応、地域社会への貢献など多様な改革が求められています。文部科学省においても教職課程における「体育科目2単位」取得義務の廃止が議論されるなど、大学体育は危機を迎えています。

このような状況の中、大学体育の教育的意義について再考することは極めて重要と考えます。本講演では、わが国の新制大学のモデルとなった米国大学における体育・スポーツ教育の事例を取り上げ、高等教育において体育・スポーツを導入する意図や目的について紹介します。さらに、演者が実践してきた大学体育における調査をもとに、スポーツや健康教育を通じて学生がどのように非認知的能力（社会情動的スキル）を学んでいるかを報告します。皆さまと大学体育の可能性について議論を深めていきたいと考えています。

主催：全国大学体育連合 近畿支部

共催：大阪大学 全学教育推進機構 スポーツ・健康教育部門

健康スポーツ科学教育研究環 健康スポーツリテラシー部門

お問い合わせ：七五三木 聡, shimegi.satoshi.celas@osaka-u.ac.jp